

あやめの里

あやめの里 行動理念と品質方針

平成15年3月15日
施設長 下河邊 勝世

“いのち輝いて、笑顔あふれるふれあいの里”

あ 暖かく質の高いケアを提供します。

- 1 インフォームドコンセントを重んじ、納得のいく説明と同意に努めます。
- 2 身体的のみならず、精神面にも配慮した全人的ケアに努めます。
- 3 在宅復帰を目指し、ひとりひとりの状態や段階に適切なケアプランの立案に努めます。
- 4 各分野の専門職員がチームを組んで問題解決にあたります。
- 5 人としての誇りと尊厳を大切に、身体拘束をしないケアを実践します。

や 優しく、丁寧なリハビリテーションを行います。

- 6 リハビリテーションスタッフの充実を図り、個人に応じた専門的リハビリテーションを行います。
- 7 全ての職員がQOL向上の為、生活リハビリテーションにかかわります。

め めきめきと元気がでる、おいしいお食事をお楽しみ下さい。

- 8 五感で楽しめる食事、季節感を取り入れたメニューを重視します。
- 9 可能な限り個人の要望に応えたメニューに努めます。
- 10 食品衛生を第一にします。

の のびのびと自分らしい生活、個性を大事にします。

- 11 レットミー ディサイド(自己決定)を尊重します。
- 12 できる限り個人の特性・事情に配慮し、個別的な対応を致します。
- 13 癒しの環境の整備に努めます。

さ サービスの向上をめざして、常に自己研鑽に努めます。

- 14 更なる利用者の高いニーズに答えるために、品質マネジメントシステムを絶えず改善・進歩させることに努めます。
- 15 毎年ひとつ、すべての職員が自己研鑽の課題を設定し、取り組みます。

と とともに手を繋ごう、高齢者とその家族、ボランティア、職員、地域の和。

- 16 ご利用者、ご家族と良いコミュニケーションをとり、ケアプランを共有しお互い納得のいくケアやリハビリを行います。
- 17 地域ケアの中核施設として、医療福祉施設及び地域の皆様との連携、交流に努めます。

2019年度年報(R1年度)



施設長 下河邊 勝世

2019年度は介護保険改定より2年目の年となった。老健機能の指標として、10項目を点数化（在宅復帰・在宅療養支援等指標ポイント）し、その合計点により、5つの類型に分けられている。70点以上が最高ランクの“超強化型”であるが、2018年7月から超強化型を維持できている。今年度は71点～84点（平均77.1点）で推移した。年度を通して、超強化型を維持することができたことは、今年度の最も大きな成果であり、各部署の努力と連携の賜物と言える。老健の在宅復帰・支援機能を強化するものとして、日曜日のリハビリ実施、短期集中リハビリ・認知症短期集中リハビリの対象者を増やすことができた。

また、緊急ショートステイの受け入れも積極的に行った。通所においては、社会参加支援加算の取得に努めた。

利用状況の一部を以下に紹介する。①ベッド稼働率（平均在所者数）88.9%、前年度より低下している。②平均要介護度3.15点／5点、前年と変わらないが、介護保険認定審査が厳しくなっており、実態として要介護量は増えている。③平均在所日数246.2日（ショートステイ除く）、56.5日（ショートステイ含む）。④在宅復帰率43.0%、例年通り冬季の復帰率は低い。⑤通所利用率（平均通所者数）84.1%（全日）94.5%（平日のみ）。（その他詳細は別表を参照。）

老健で可能なサービス向上の一環として、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の推進に努めた。平均年齢88歳と高く、重度の心不全、腎不全、認知症や癌を患っておられる方も多く、人生の終末に近

い日々をどう充実させて過ごすかは、ご本人やご家族にとって大きな問題である。個々人によって、これまでの生活・病状・家族関係などそれぞれに異なり、難しい面も多々あるが、ある程度統一した対応を模索し、“私の望み”という小冊子作製を試みた。可能な方に対しては、不完全な形でもACPの考え方に沿った対応に努めた。これは是非、次年度も活動を発展させなければならない重要な課題である。

できるだけ心地よく施設での生活を楽しんでいただきたいとの思いで、毎年各種の取り組みを行っているが、今年度、栄養科は食環境の改善に取り組んだ。食欲の湧くBGMということで、昼食時間、モーツァルトの作品を中心に流した。また、行事食や郷土料理の工夫に努め、提供時に由来などの説明を全館放送で行い、食を通して生活の活性化を図った。

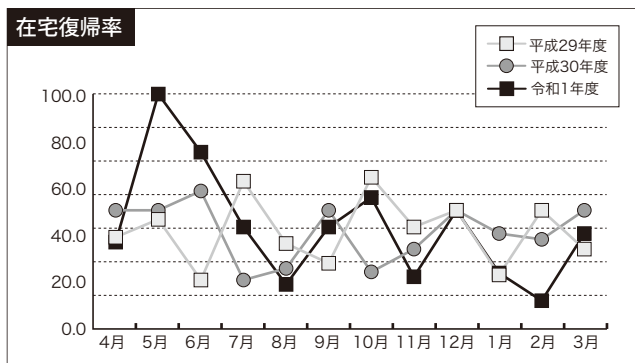
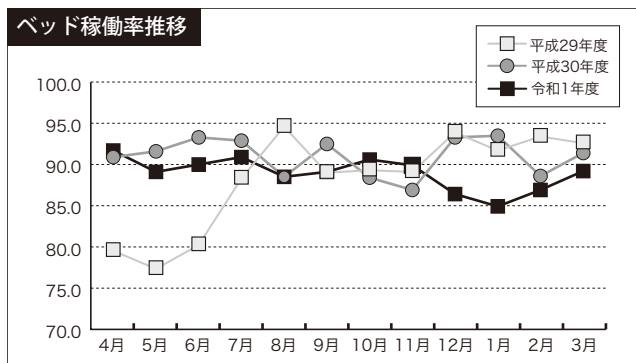
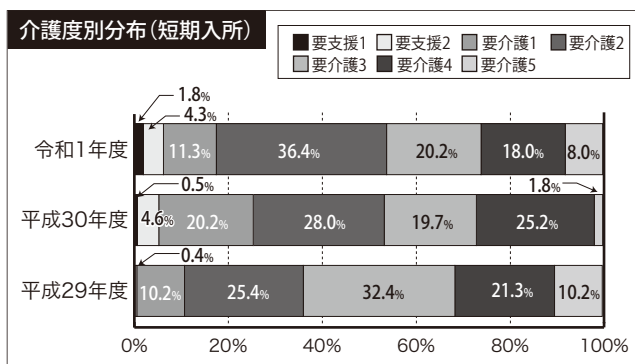
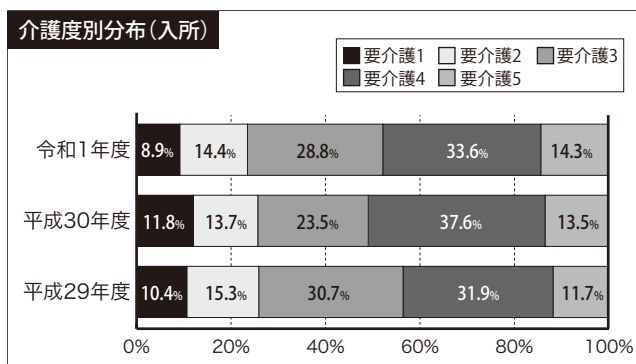
地域支援事業については、地域事業所のケアマネージャー対象に研修会を開催した（12月：自立支援の考え方と具体的な支援方法 講師：都甲副主任）。3月にも予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症のため中止となった。

働き方改革への取り組みの一つとして、“業務改善委員会”を設置し、アンケート調査などを行い、職場環境改善を図った。

今年度末には、新型コロナウイルス感染症の影響がじわじわと広がり、今後どのように変わっていくのか予断を許さない状況になっているが、老健の地域社会での役割を再認識し、地域の皆様に喜ばれ、必要とされる施設でありたいと願っている。

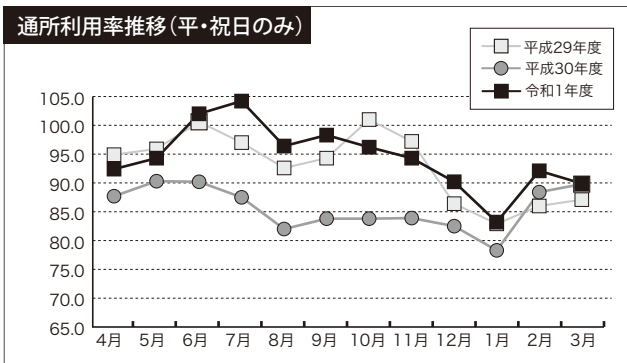
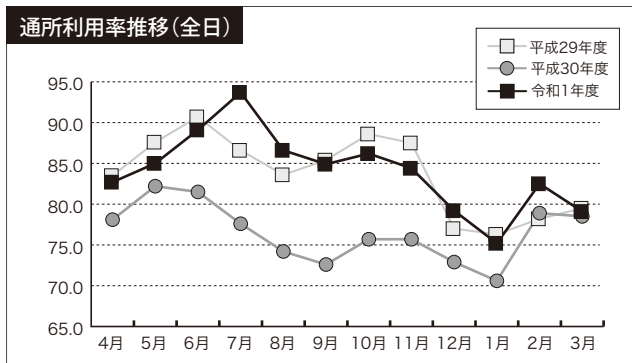
令和1年度 利用状況

	入所人数	退所人数	入所延件数	短期入所人数	短期退所人数	短期延件数	合計延件数	平均在所日数(入所)	平均在所日数(短期)	平均在所日数(入所+短期)	平均年齢	平均介護度	ベッド稼働率	在宅復帰率
4月	9	12	2,605	37	36	145	2,750	248.1	6.1	58.5	87.9	3.063	91.7	36.3
5月	11	11	2,603	41	42	160	2,763	236.6	6.3	52.6	87.3	3.092	89.1	100.0
6月	10	9	2,542	40	36	158	2,700	267.6	6.2	56.8	87.3	3.127	90.0	75.0
7月	9	9	2,676	44	47	143	2,819	297.3	6.3	51.7	87.3	3.171	90.9	42.8
8月	9	11	2,616	38	38	129	2,745	261.6	6.2	57.2	86.8	3.265	88.5	18.1
9月	9	7	2,544	37	36	129	2,673	318.0	6.1	60.1	88.7	3.233	89.1	42.8
10月	9	9	2,678	35	38	131	2,809	297.6	6.3	61.7	86.7	3.141	90.6	55.5
11月	11	15	2,563	42	38	134	2,697	197.2	6.4	50.9	89.9	3.139	89.9	21.4
12月	13	12	2,541	36	35	137	2,678	203.3	6.6	55.8	87.1	3.076	86.4	50.0
1月	17	16	2,536	34	36	95	2,631	153.7	5.0	51.1	87.1	3.146	84.9	23.0
2月	11	10	2,427	29	32	93	2,520	231.1	6.0	61.5	86.9	3.189	86.9	11.1
3月	10	12	2,664	36	35	101	2,765	242.2	6.0	59.5	87.3	3.168	89.2	40.0
年間	128	133	30,995	449	449	1,555	32,550	246.2	6.1	56.5	87.5	3.151	88.9	43.0
	(人)	(人)	(件)	(人)	(人)	(件)	(件)	(日)	(日)	(日)	(歳)		(%)	(%)



令和1年度 通所リハビリテーション利用状況

	営業日	予防給付者延件数	介護給付者延件数	総延件数	1日平均通所者数		利用率(稼働率)	
					全日	平・祝日のみ	全日	平・祝日のみ
4月	30	175	818	993	33.1	36.9	82.7	92.4
5月	31	201	853	1,054	34.0	37.7	85.0	94.3
6月	30	207	862	1,069	35.6	40.8	89.1	102.0
7月	31	225	938	1,163	37.5	41.7	93.7	104.2
8月	31	197	878	1,075	34.5	38.6	86.6	96.4
9月	30	208	811	1,019	34.0	39.3	84.9	98.3
10月	31	214	856	1,070	34.5	38.5	86.2	96.2
11月	30	219	794	1,013	33.8	37.7	84.4	94.3
12月	31	206	776	982	31.7	36.1	79.2	90.2
1月	31	196	737	933	30.1	33.3	75.2	83.2
2月	29	210	747	957	33.0	36.8	82.5	92.1
3月	31	212	769	981	31.6	35.9	79.1	89.9
年間	366	2,470	9,839	12,309	33.6	37.8	84.1	94.5
	(日)	(件)	(件)	(件)	(人)	(人)	(%)	(%)



令和1年度 リハビリテーション実施状況

	入所		短期	通所				
	短期集中加算	認知症短期集中加算	個別加算	短期集中個別リハビリ実施加算	マネジメント加算Ⅰ	マネジメント加算Ⅱ	生活行為向上リハビリ加算	運動器機能向上加算
4月	670	27	55	82	88	24	0	29
5月	582	45	83	97	90	22	0	31
6月	556	65	79	105	93	24	0	33
7月	623	106	86	94	91	24	0	34
8月	546	72	64	71	90	22	0	32
9月	456	64	67	21	88	22	0	34
10月	516	86	77	17	83	21	0	34
11月	509	81	81	13	85	19	0	35
12月	528	57	68	22	80	21	0	36
1月	437	25	56	29	84	21	0	36
2月	462	24	50	34	84	19	0	34
3月	580	61	61	55	82	19	0	32
年間	6,465	713	827	640	1,038	258	0	400
	(件)	(件)	(件)	(件)	(人)	(人)	(人)	(件)

学会発表等

学 会 名	演 題 名	発 表 者
第30回 全国介護老人保健施設記念大会 別府大分	キラリハット ～素敵なところを見つけよう～	介護福祉士 諸隈絵理奈
第30回 全国介護老人保健施設記念大会 別府大分	趣味活動で生活に楽しみを ～菜園活動を通したご利用者との関わり～	介護福祉士 立山 智子
第30回 全国介護老人保健施設記念大会 別府大分	口から食べる楽しみをいつまでも ～経口維持加算を導入して～	管理栄養士 田代 綾子
第30回 全国介護老人保健施設記念大会 別府大分	超強化型算定に向けた取り組みと課題	社会福祉士 松田 勇志
リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019	これがわたしの生きる道 ～生きがいのある毎日を送るために明確な目標を共有する 大切さ～	作業療法士 杉本 淳子
リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019	日めくりカレンダーを使った服薬管理 ～多職種連携により管理が定着した症例～	作業療法士 田中 菜実

講師派遣等

日付	部署	氏名	講演名	場所
2019年 5月19日	リハビリ科	都甲 幹太	福岡県作業療法協会「認知症アップデート研修」	福岡市
2019年 5月21日	リハビリ科	都甲 幹太	全国デイケア協会「生活行為向上リハビリテーション研修会」	東京都
2019年 6月20日	リハビリ科	都甲 幹太	山口県介護支援専門員協会「施設における老衰終末期の支援 研修会」	山口市
2019年 7月 3日	リハビリ科	都甲 幹太	福岡県作業療法協会「MTDLP 事例発表 書き方研修会」	福岡市
2019年 8月 4日	リハビリ科	都甲 幹太	日本作業療法士協会 重点課題研修「MTDLPを活用した作業療法教育」	東京都
2019年 8月18日	リハビリ科	都甲 幹太	福岡県作業療法協会「MTDLP 基礎研修」	福岡市
2019年 9月11日	リハビリ科	都甲 幹太	戸畑区 ケアマネ・リハ連絡協議会 合同研修会	北九州市
2019年 9月15日	リハビリ科	都甲 幹太	福岡県作業療法協会「MTDLP 事例発表会」	北九州市
2019年 10月 6日	リハビリ科	都甲 幹太	全国デイケア協会「生活行為向上リハビリテーション研修会」	大阪市
2019年 10月 9日	リハビリ科	志田啓太郎	福祉用具専門相談員研修	中間市
2019年 10月27日	リハビリ科	都甲 幹太	福岡県作業療法協会「MTDLP 基礎研修」	福岡市
2019年 12月 1日	リハビリ科	都甲 幹太	厚生労働省指定 令和2年度 臨床実習指導者講習会	北九州市
2019年 12月 4日	リハビリ科	都甲 幹太	北九州市 認知症介護予防センター「認知症介護教室」	北九州市
2019年 12月 7日	リハビリ科	都甲 幹太	広島都市学園大学 実習指導者会議「MTDLPを用いた実習の進め方」	広島市
2020年 1月19日	リハビリ科	都甲 幹太	福岡県作業療法協会「MTDLP 事例発表会」	北九州市
2020年 2月18日	リハビリ科	都甲 幹太	広島大学 臨床実習指導者会議研修会	広島市

あやめの里 沿革

平成8年8月1日	あやめの里 開設 通所リハビリテーション 30名定員(土日祝日、年末・年始休み) 入所100床(稼働 2階療養棟 38床)
平成8年8月12日	入所(稼働 3階療養棟 36床)
平成8年9月10日	入所(稼働 4階療養棟 26床)
平成8年9月12日	開設以来 入所50名に達する
平成9年8月9日	通所リハビリテーション 土曜日の営業開始
平成9年11月1日	通所リハビリテーション 40名定員に変更
平成10年7月20日	通所リハビリテーション 祝日の営業開始
平成10年12月30日	通所リハビリテーション 12月30日の営業開始
平成11年6月6日	通所リハビリテーション 日曜日の営業開始
平成11年12月31日	通所リハビリテーション 365日営業開始
平成14年7月31日	ISO9001:2000取得

あやめの里 概要

名称
介護老人保健施設 あやめの里

所在地
〒804 - 0092
福岡県北九州市戸畑区小芝2丁目4番18号
TEL 093 - 871 - 5902 FAX 093 - 871 - 5904

開設
平成8年8月

療養棟:100床(2階療養棟38床、3階療養棟36床、4階療養棟26床)
部屋数:37室(特別室2室、個室4室、2人部屋15室、4人部屋16室)

利用可能サービス:

■入所

対象:要介護1~5
定員:入所・短期入所含め100名

■短期入所(ショートステイ)

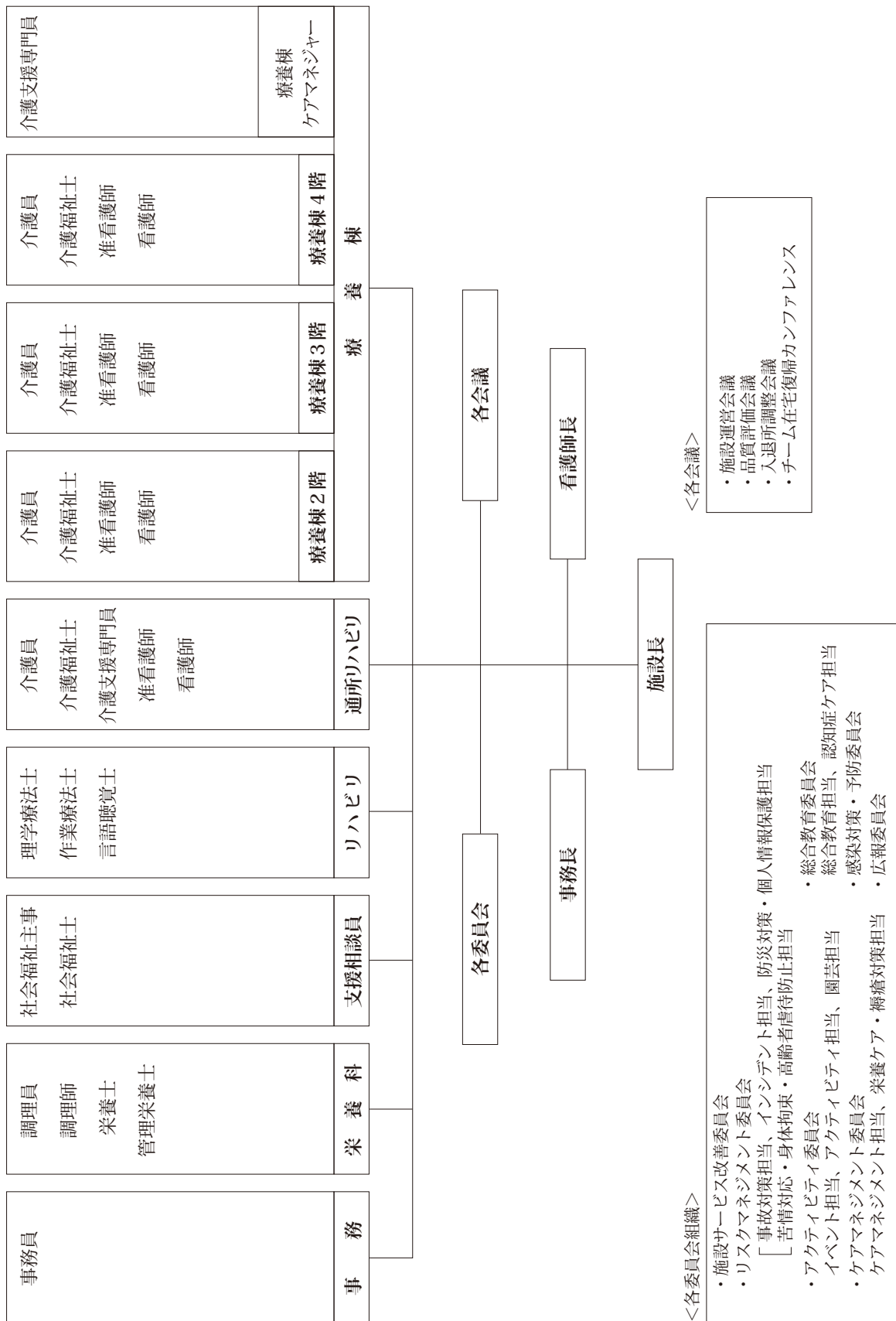
対象:要支援1・2、要介護1~5
定員:入所・短期入所含め100名

■通所リハビリテーション(デイケア)

対象:要支援1・2、要介護1~5
定員:40名/日(365日営業)

介護老人保健施設 あやめの里 組織図

H30.05.01 改定



学術業績（学会発表）

リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019【2019年11月21日】

演 題:これがわたしの生きる道～生きがいのある毎日を送るために明確な目標を共有する大切さ～

演 者:杉本 淳子/あやめの里 リハビリ科 作業療法士

【はじめに】

生活行為目標が定まらないままデイケアを利用開始した場合、目標達成基準が曖昧になり「デイケアに通い状態を維持すること」が目標にすり替わることがある。面接を重ねて明確な目標の合意形成ができ目標達成までの円滑な支援を行ったため報告する。

【症例紹介と経過・結果】

- ①A氏:80歳代前半の女性、要介護1、独居。歩行安定を目的にデイケア利用開始。面接にて自宅のリフォームでIHコンロになって以来調理を行っていないことが分かり、IHの使い方指導と環境調整を行い調理を再開。
- ②B氏:80歳代前半の女性、要介護1、息子と同居。歩行安定が当初の目的。圧迫骨折で入院して以来買い物と調理を息子に任せていることが分かり、スーパーまでの歩行と買

い物動作の確認を行い買い物・調理を再開。

- ③C氏:90歳代前半の男性、要支援1、妻と同居。生活習慣の維持が当初の目的。写真を撮るための遠出が趣味で3年前にバスを降りる際転倒して以来行っていないことが分かり、バスの利用動作とカメラ操作の確認を行い外出を再開。

【考察】

面接を積み重ねて目標を明確にしたことで、模擬練習や実際場面の確認など個別的関わりを円滑に行うことができ役割や余暇活動再開に繋がったと考える。利用前より明確な目標を合意形成することが理想だが、ラポール形成後や実際場面での気づきから得られる情報も多いため必要に応じて面接と情報共有を行い、他職種と連携して支援する必要がある。



リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢2019【2019年11月21日】

演 題:日めくりカレンダーを使った服薬管理～多職種連携により管理が定着した症例～

演 者:田中 菜実/あやめの里 リハビリ科 作業療法士

【はじめに】

今回、第三腰椎椎体骨折による入院加療後に在宅での生活を再開したが内服の自己管理が困難となり老人保健施設に入所したA氏を担当した。再び在宅での生活が行えるよう本人やご家族、施設スタッフと服薬管理の定着に向けた取り組みを紹介する。

【症例】

80代女性。要介護1、サービス未利用。同居家族は仕事のため夜まで1人で過ごしている。入院前より服薬管理は本人が行っていたが飲みすぎ、飲み忘れがあった。

【経過・結果】

入所時は朝、夕に服薬をしていたが薬の一包化を医師、看護師に提案し、朝のみに調整をした。

1週間用の服薬カレンダーを導入すると、多くの薬がセッ

ティングされている状態では混乱し管理が行えなかった。A氏との関わりの中で、デジタル時計やカレンダーを見て日付の確認が可能であることが分かり、日めくりカレンダーとデジタル時計で日付を照らし合わせる管理を試みると、1日分の薬のみが見えるようになったことで混乱なく管理が出来た。また退所前訪問時に、カレンダーとデジタル時計の設置場所を提案したことで在宅復帰後も管理が可能となった。

【考察】

本人の残存機能を見極め様々な方法を試みることでA氏に可能な管理方法を検討することが出来た。また多職種と情報共有や、連携を行いながら定期的な現状報告をご家族に行ったことで管理方法や支援のイメージを持って頂き、スムーズな在宅復帰に繋がったと考える。



学会等・出張先一覧

自	至	氏名	所属部署	目的	発表	場所
6月6日	6月8日	下河邊勝世	施設長	第31回日本老年学会総会(合同大会)		宮城県
6月22日	6月23日	田中 菜実	リハビリ科	第1回九州作業療法学会		北九州市
6月22日	6月23日	大平 麻央	リハビリ科	第1回九州作業療法学会		北九州市
11月7日	11月9日	下河邊勝世	施設長	第38回日本認知症学会学術集会		東京都
11月20日	11月22日	下河邊勝世	施設長	令和元年度公益社団法人全国老人保健施設協会表彰、第30回全国老人保健施設記念大会		大分県
11月20日	11月22日	松田 勇志	相談室	第30回全国介護老人保健施設記念大会 別府大分	演者	大分県
11月20日	11月22日	杉本 淳子	リハビリ科	リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019	演者	石川県
11月20日	11月22日	田中 菜実	リハビリ科	リハビリテーション・ケア合同研究大会 金沢 2019	演者	石川県
11月21日	11月22日	田代 綾子	栄養科	第30回全国介護老人保健施設記念大会 別府大分	演者	大分県
11月21日	11月22日	立山 智子	療養棟	第30回全国介護老人保健施設記念大会 別府大分	演者	大分県
11月21日	11月22日	諸隈絵理奈	療養棟	第30回全国介護老人保健施設記念大会 別府大分	演者	大分県
1月26日		下河邊勝世	施設長	難病指定医・協力難病指定医研修会		福岡市

令和元年度実習生受入先一覧

施設・部署	学校名	人数
看護・介護	美萩野保健衛生学院	29名
	戸畑看護専門学校	30名
	東筑紫短期大学	2名
	麻生医療福祉専門学校	1名
	折尾愛真高校	2名
	西南女学院大学	1名